

か ど ひいらぎ

香 童 の 校

No. 6

壬生町立稲葉小学校 学校便り

平成29年6月5日

文責：校長 廣田 昌英

迷える(?)教師

修学旅行に行ってきました。石橋駅での出発式で、「ケンカや失敗は当たり前、帰ってきたときにいい修学旅行だったと思えるようにみんなで協力しましょう。」と話したのですが、いやいや、まいりました。ケンカどころか、みんなで助け合って本当にいい旅行となりました。本校の学校教育目標である「たすけあう子」がそこにいました。稲葉小の子ども達はホント、思いやりのある優しい子ども達ばかりですね。

そんな6年生を3年連続で担任するのは田中真秀(まほ)先生。マサヒデ先生?俺と同じ名前(昌英)じゃん!って思ったら、うら若き女性でした。その田中先生、子ども達ととっても仲がいいんです。面倒見のいいお母さん、いやいやお姉さんみたいです。でも時々ハッと気付いたかのようにまじめな先生の顔になるんです。

旅行中のある集合場所で楽しげに子ども達と談笑していましたが、ふとキリッとした顔になり、「班長さん、人数を確認してください!」。ある班長が「〇〇さんがまだいません」。すると田中先生、「〇〇さんはさっきトイレに向かいました。そろそろ戻る頃です」...。私は思いました。そこまで把握してるんだったら人員点呼は必要ないんじゃない? ... 優しさ、愛情、規律、厳しさ... 使い分けに迷いながらも田中先生、頑張ってます。

神奈川県庁

横浜散策では、2人のシティガイドさんが一緒に歩いて説明してくださいました。大人数ではなかなか見学できないような中華街、神奈川県庁、横浜税関など、とても興味深い場所を丁寧に案内してくださいました。私がつも印象深いのは神奈川県

庁の屋上展望台です。それほどの高さはないのですが、港がほぼ一望できるのです。おそらく、どのガイドブックでも紹介されていない場所なのではないでしょうか(あまり自信はありませんが)。今度横浜を訪れたときは、是非、登ってみてください。

何で切るの?

修学旅行での朝食、洋食スタイルでした。するとオムレツを食べようとしていた子が右手にフォーク、左手にナイフを持って言いました。「先生、包丁で切っていいですか?」.....。そこはさあ、右手のナイフで切っておくれよ。

縁の下の力持ち

中華街で夕食を済ませ、部屋に戻って一段落。するとすぐにドアをコンコンとたたく音が。養護教諭の鷺嶋則子先生でした。「お疲れ様でした」と、栄養ドリンクと爽やかに香る柚のお菓子の差し入れでした。こんな私のことまで気遣ってくれるなんて、なんて優しい方なんでしょう。「なんだ、ビールと柿の種じゃねえのかよ!」なんて全然思いませんでした。

修学旅行に出発するかなり前から子ども達の健康を細かくチェックしていて、当日も子ども達の顔色や食欲をずーっと観察していました。「あの子はちょっと胃腸が繊細なんで心配なんです」なんて素敵な言葉も聞くことができました。陰にこんな先生がいるからこそ私たちは安心して旅行はもちろん、学校生活が送れるんですね。

もし私が体調を崩したら、どんな優しい言葉をかけてくれるんでしょう?「アンタ校長でしょ、シャンとしなさいよ!」... 鷺嶋先生、そういう言葉はあなたには似合いませんよ。